

科目名	地域社会学			ナンバリング	SOC131	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	前田悟志	担当教員					

授業の概要	この授業の目的は、国内外のいくつかの都市地域についてのエリアスタディーズの比較を通して、それぞれの都市がグローバル秩序のなかでどのような位置取りをして、地域固有の事情をつくりだしているかという背景の理解を目標にする。 具体的には、ロサンゼルス(特にその中の韓国人街、新旧の中国人街)、フィリピンの各地域をとりあげる。 また、日本全体の特殊事情にも触れることで、履修者自らが生きる日常の地域社会への影響も感じ取れるようにする。						
到達目標	1. 地域社会の構造とメカニズムを把握し、それを具体的な事例において理解し、説明することができる。 2. 新自由主義について、地域社会別の現れ方の違いを説明することができる。 3. 自らが暮らす地域社会について、この講座で学んだグローバル秩序との関連でレポートを書くことができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	授業で出てくる用語・単語・カタカナ用語などでわからないものがあつた場合、それについてその場で特段の説明がない場合は、メモしておき、同日中にも辞典や論文等を通じて自ら調べること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. グローバル秩序と各地域のと特殊事情が、地域間の関係性にどのように影響を与えているのかを説明できる。 2. 授業で取り上げた都市地域について概要が説明できる。	1. グローバル秩序がそれぞれの地域に与えた影響を、経済的、政治的な連関において説明できる。 2. 先行研究を参照しながら、自ら問い・仮説を立て、筋道を立てて論証ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
試験(期末試験)	○	○					50%
個人・グループ発表		○			○		20%
出席				○			15%
授業態度・授業への参加			○	○			15%

課題、評価のフィードバック	課題は主に授業中の小プレゼンテーションでアウトプットしていただきます。フィードバックはその際に口頭で行います。
---------------	---------------------------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	今後のスケジュール, および授業が触れる内容の確認. 評価, 課題を確認する.	
	第2回	諸概念・用語(1)	ケインズの処方, 新自由主義について解説する.	
	第3回	諸概念・用語(2)	ソーシャル・キャピタル, 2つの近代性について解説する.	
	第4回	人類史の俯瞰(1)	グローバル秩序の成立以前について解説する.	
	第5回	人類史の俯瞰(2)	現在のグローバル秩序の成立までの概略について解説する.	
	第6回	後期近代性と消費社会	消費時代における地域社会の諸相の紹介について解説する.	
	第7回	グローバル秩序と地域社会の関連(1)	ロサンジェルスの場合について解説する. (1)	
	第8回	グローバル秩序と地域社会の関連(2)	ロサンジェルスの場合について解説する. (2)	
	第9回	グローバル秩序と地域社会の関連(3)	フィリピンの場合について解説する. (1)	
	第10回	グローバル秩序と地域社会の関連(4)	フィリピンの場合について解説する. (2)	
	第11回	グローバル秩序と地域社会の関連(5)	日本の場合について解説する. (1)	
	第12回	グローバル秩序と地域社会の関連(6)	日本の場合について解説する. (2)	
	第13回	関連する先行研究の紹介	地域社会学の重要文献をいくつか紹介し解説する.	
	第14回	まとめ(1)	第2回から第7回までのまとめ	
	第15回	まとめ(2)	第8回から第13回までのまとめ. 筆記試験	
	試験	定期試験は実施しない.		
授業の進め方	毎回, 最後の20分間を使って, 履修者数によって, 個人かグループでの小プレゼンテーション(授業に関する)を後期を通じて最低1回, 全員にやっています. 20分間の内, 5分間はクラス全体でのディスカッションに使用します.			
授業外学習の指示	自分がプレゼンテーションをする週は予めわかるように配慮するので, 発表に向けて調査および, パワーポイント等の準備をしてもらいます. (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	教科書は使用しない
参考書	
参考URLなど	
その他	